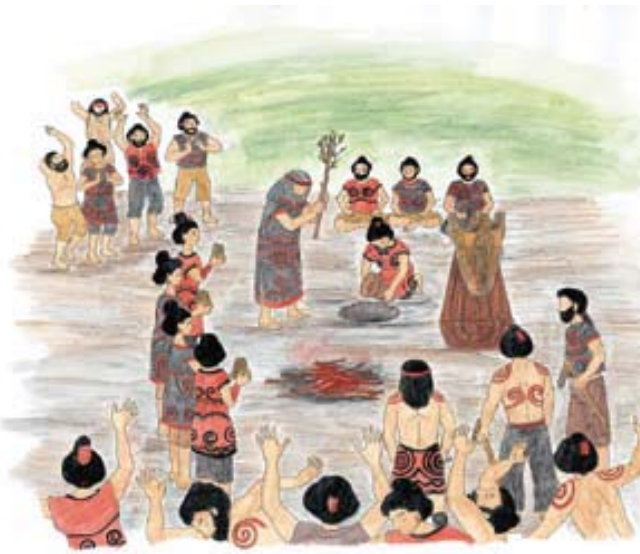


発掘をしていると^{たてあなじゅうきょ}竪穴住居の中に土器が埋められていることがあります。これは^{うめがめ}埋甕と呼ばれ、家の玄関口に埋められています。家の外に埋められていることもあり、お墓と考えられています。また、お墓のお供え物^{ふくそうひん}（副葬品）や、儀式の中で土器を割りながら埋めていくこともおこなわれていたようです。縄文土器は色々なことに使われていた^{ばんのう}万能の器、魔法の器なのです。

縄文土器も壊れてしまうことがあります。そんな壊れてしまった土器もリサイクルされて、^{えんばんじょう}円盤状に加工した土器片製円盤^{とき へんせいえんばん}やおもりにした土器片^{とき へんすい}錘として再利用されることもあります。また、直して使うこともありました。



土器を埋める儀式のイメージイラスト



儀式で埋められた土器
安道寺遺跡(甲州市)



土器片製円盤 中道遺跡
(韮崎市)



土器片錘 釈迦堂遺跡
(笛吹市・甲州市)

* 粘土でできたフシギな小物(土製品) *

粘土を焼いて作ったものは縄文土器だけではありません。縄文王国の「女神さま」土偶をはじめ、色々なものが作られています。

たとえば、スプーンの形をしたもの^{じょうど}(さじ状土製品)や、大きな土器のミニチュア版みたいなものなどがあります。まるでおまごとの道具のようですが、お祭りをおこなうような場所などから出土することもあるので、儀式用の器として使われたと考えられます。



縄文王国のフシギな小物たち
どんなお祭りで使われたのかな？友達と考えてみよう！
女夫石遺跡(韮崎市)

さて、縄文王国山梨で縄文時代中期に作られていた土器はとても面白くて、縄文人の女神さまや、ヘビやイノシシを表した立体的な模様がつけられます。

ただ鍋として使うためには必要なさそうですね。

でも、そこには縄文人が土器にこめたメッセージがあるはずです。

みんなも、そのメッセージを読み取ってみませんか？

